

第3章 地域の概況及び地域特性

第3章 地域の概況及び地域特性

3.1 調査対象地域の設定

対象事業実施区域及びその周辺における環境に関する情報を収集し、対象事業実施区域を含む周辺の地域特性の把握に努めました。

環境に関する情報の収集は、図 3.1.1.1 に示すとおり、対象事業実施区域を中心とした栄区、藤沢市を除く約 4.5 km × 4.5 km の区域（以下、「調査区域」といいます。）を対象とすることを基本としました。統計データの情報収集は、泉区、戸塚区の合計 2 区（以下、「調査対象地域」といいます。）を対象としました。

なお、環境に関する情報の収集は、「横浜市環境配慮指針 資料編」（令和 3 年 4 月改定）に基づいて行いました。



図 3.1.1.1 調査対象地域

3.2 地域の概況

3.2.1 気象の状況

本市の気象は横浜地方気象台（横浜市中区山手町）で観測されています。

横浜地方気象台で観測された気象の状況は、表 3.2.1.1 に示すとおりです。

令和6年における平均気温は18.0°C、平均風速は3.5m/s、最多風向は北、降水総量は1,819.0mmとなっています。

表 3.2.1.1 気象の状況（令和6年）

項目	年間	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温 (°C)	18.0	8.0	8.5	10.1	17.0	19.9	23.1	28.8	29.3	26.9	21.0	14.4	9.0
最高気温 (°C)	37.1	17.5	24.0	26.9	27.7	28.0	33.4	37.1	36.4	34.9	31.1	23.4	18.2
最低気温 (°C)	0.6	0.8	0.6	0.9	8.3	10.2	15.8	22.7	24.4	19.1	12.2	6.0	2.2
平均湿度 (%)	69	52	63	57	73	73	78	77	77	79	78	66	53
平均風速 (m/s)	3.5	3.6	4.0	4.3	2.9	3.8	3.0	3.0	3.3	3.6	3.5	3.7	3.2
最多風向	北)	北	北)	北	北	南南西	南西	南西	南南東	北	北	北	北
日照時間 (h)	2,227.3	212.3	146.3	195.6	146.4	194.5	184.9	221.9	229.9	192.7	116.7	146.4	239.7
日照率 (%)	50	68	47	53	37	45	43	50	55	52	33	47	79
降水総量 (mm)	1,819.0	32.5	83.5	223.0	128.5	212.5	356.0	82.0	245.0	96.5	207.5	152.0	0.0

※ 「」は、統計を行う対象資料が許容範囲で欠けているが、正常値と同等に扱う準正常値であることを示します。

資料：「横浜地方気象台」（気象庁ホームページ、令和7年3月調べ）

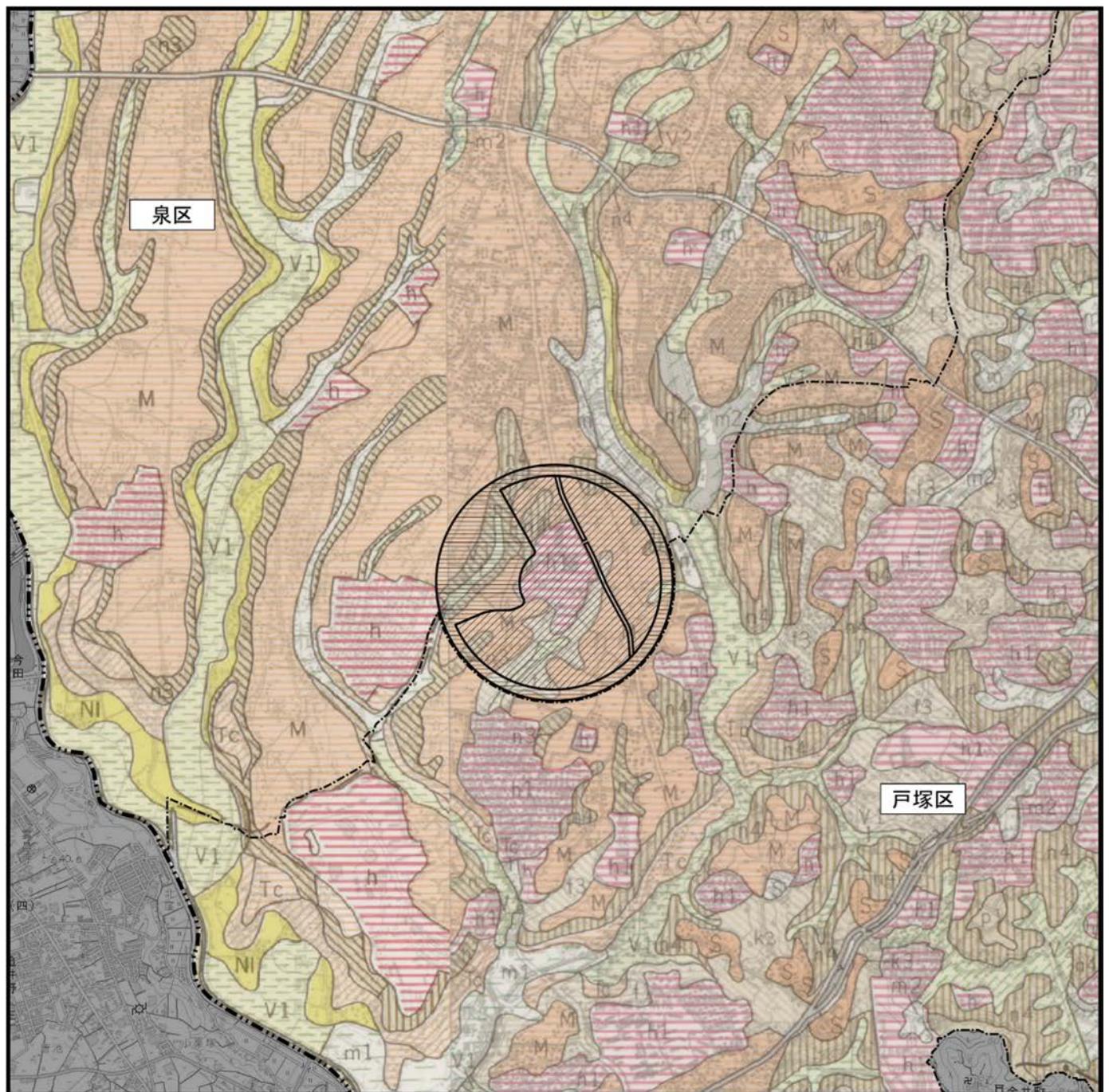
3.2.2 地形、地質、地盤の状況

1) 地形

調査区域の地形分類の状況は、図 3.2.2.1 及び表 3.2.2.1 に示すとおりです。

地形分類図によると、対象事業実施区域の地形は、大部分に武藏野段丘面群があり、一部に一般斜面、谷底平野、平坦化地、山麓緩斜面、山頂緩斜面が分布しています。

なお、調査区域には「日本の地形レッドデータブック第1集（新装版）-危機にある地形-」（小泉武栄・青木賢人編、2000年12月）、「日本の地形レッドデータブック第2集-保存すべき地形-」（小泉武栄・青木賢人編、2002年3月）の保存すべき地形はありません。



凡 例

■：対象事業実施区域（公園）

■：対象事業実施区域（墓園）

---：市 境

---：区 境



0 250 500 1,000
m

1:25,000

資料 A : 「土地分類基本調査（5万分の1地形分類図）藤沢・平塚」
(神奈川県、昭和 63 年 3 月)

資料 B : 「土地分類基本調査（5万分の1地形分類図）横浜・東京西南部・
東京東南部・木更津」
(神奈川県、平成 3 年 3 月)

図 3.2.2.1 地形分類図

表 3.2.2.1 地形分類図（図 3.2.2.1）の凡例

資料A		資料B	
n3	一般斜面(8°～15°)	p1	山頂緩斜面(0°～3°)
n4	一般斜面(15°～30°)	p2	山頂緩斜面(3°～8°)
M	武藏野段丘面群(0°～3°)	p3	山頂緩斜面(8°～15°)
M	武藏野段丘面群(3°～8°)	k2	山腹緩斜面(3°～8°)
Tc	立川段丘面群(0°～3°)	k3	山腹緩斜面(8°～15°)
Tc	立川段丘面群(3°～8°)	f1	山麓緩斜面(0°～3°)
NI	自然堤防(0°～3°)	f3	山麓緩斜面(8°～15°)
V1	谷底平野(0°～3°)	n3	一般斜面(8°～15°)
V2	谷底平野(3°～8°)	n4	一般斜面(15°～30°)
Fp1	氾濫平野(0°～3°)	S	下末吉段丘面群(0°～3°)
Ar1	旧河道(0°～3°)	S	下末吉段丘面群(3°～8°)
h	平坦化地(0°～3°)	M	武藏野段丘面群(0°～3°)
m1	盛土地(0°～3°)	M	武藏野段丘面群(3°～8°)
国道・主要地方道		Tc	立川段丘面群(0°～3°)
地形界		Tc	立川段丘面群(3°～8°)
		NI	自然堤防(0°～3°)
		V1	谷底平野(0°～3°)
		V2	谷底平野(3°～8°)
		h1	平坦化地(0°～3°)
		m1	盛土地(0°～3°)
		m2	盛土地(3°～8°)
		国道・主要地方道	
		地形界	

※ 表の凡例中に示す（）内の数値は、斜面区分を示します。

斜面区分：(0°～3°) (3°～8°) (8°～15°) (15°～30°)

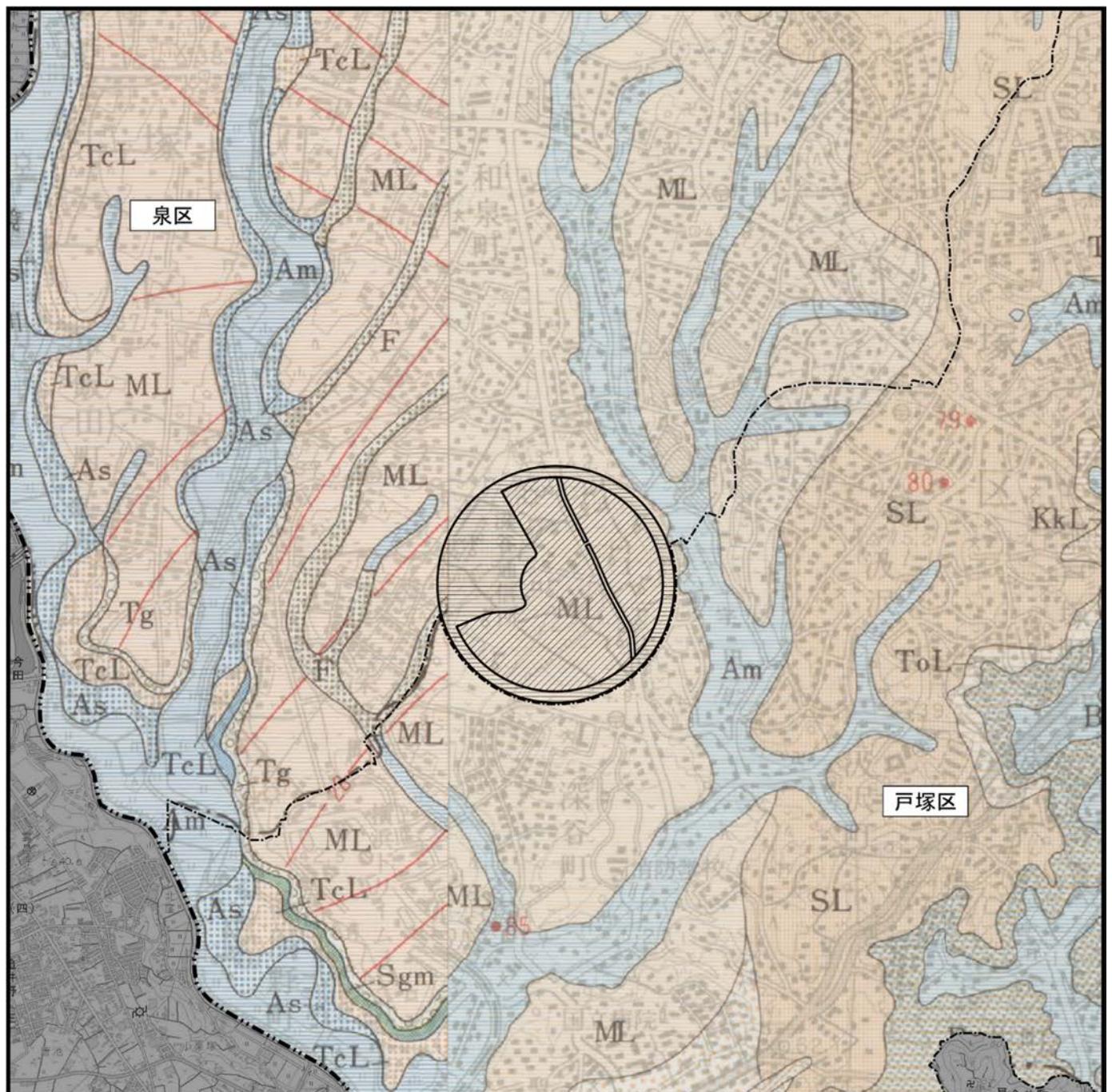
資料 A：「土地分類基本調査（5万分の1地形分類図）藤沢・平塚」（神奈川県、昭和 63 年 3 月）

資料 B：「土地分類基本調査（5万分の1地形分類図）横浜・東京西南部・東京東南部・木更津」（神奈川県、平成 3 年 3 月）

2) 地質

調査区域の表層地質の状況は、図 3.2.2.2 及び表 3.2.2.2 に示すとおりです。

表層地質図によると、対象事業実施区域の地質は、大部分が火山灰・礫及び砂/武藏野ローム層・武藏野礫層で形成されており、一部に埋め立て土が分布しています。



凡 例

■：対象事業実施区域（公園）

■：対象事業実施区域（墓園）

---：市 境

----：区 境



0 250 500 1,000
m

1:25,000

資料 A : 「土地分類基本調査（5万分の1表層地質図）藤沢・平塚」
(神奈川県、昭和63年3月)

資料 B : 「土地分類基本調査（5万分の1表層地質図）横浜・東京西南部・
東京東南部・木更津」
(神奈川県、平成3年3月)

図 3.2.2.2 表層地質図

表 3.2.2.2 表層地質図（図 3.2.2.2）の凡例

資料A		資料B	
	埋め立て土		泥を主とする／低湿地堆積物
	泥を主とし砂を含む／沖積層		火山灰・礫及び砂／立川ローム層・立川礫層
	砂、礫を主とし泥を含む／沖積層		火山灰・礫及び砂 ／武藏野ローム層・武藏野礫層
	火山灰層（スコリアを含む）／立川ローム層		火山灰・礫及び砂／小原台砂礫層・善行礫層
	火山灰層（軽石・スコリア層を挟む） ／武藏野ローム層		火山灰・泥、砂及び礫 ／下末吉ローム層・下末吉層
	礫、砂／新規段丘礫層		火山灰・泥、砂及び礫 ／土橋・土屋ローム層・戸塚層、寺尾層
	泥を主とし砂を挟む ／下部～上部多摩ローム相当層（水成層）		火山灰・泥、砂及び礫 ／山王台ローム層・上倉田層
	ローム層の基底の等高度曲線		泥、砂及び礫／平戸ローム層・屏風が浦層
			泥、砂及び礫／長沼層
			ボーリングの位置番号

資料 A：「土地分類基本調査（5万分の1表層地質図）藤沢・平塚」（神奈川県、昭和 63 年 3 月）

資料 B：「土地分類基本調査（5万分の1表層地質図）横浜・東京西南部・東京東南部・木更津」

（神奈川県、平成 3 年 3 月）

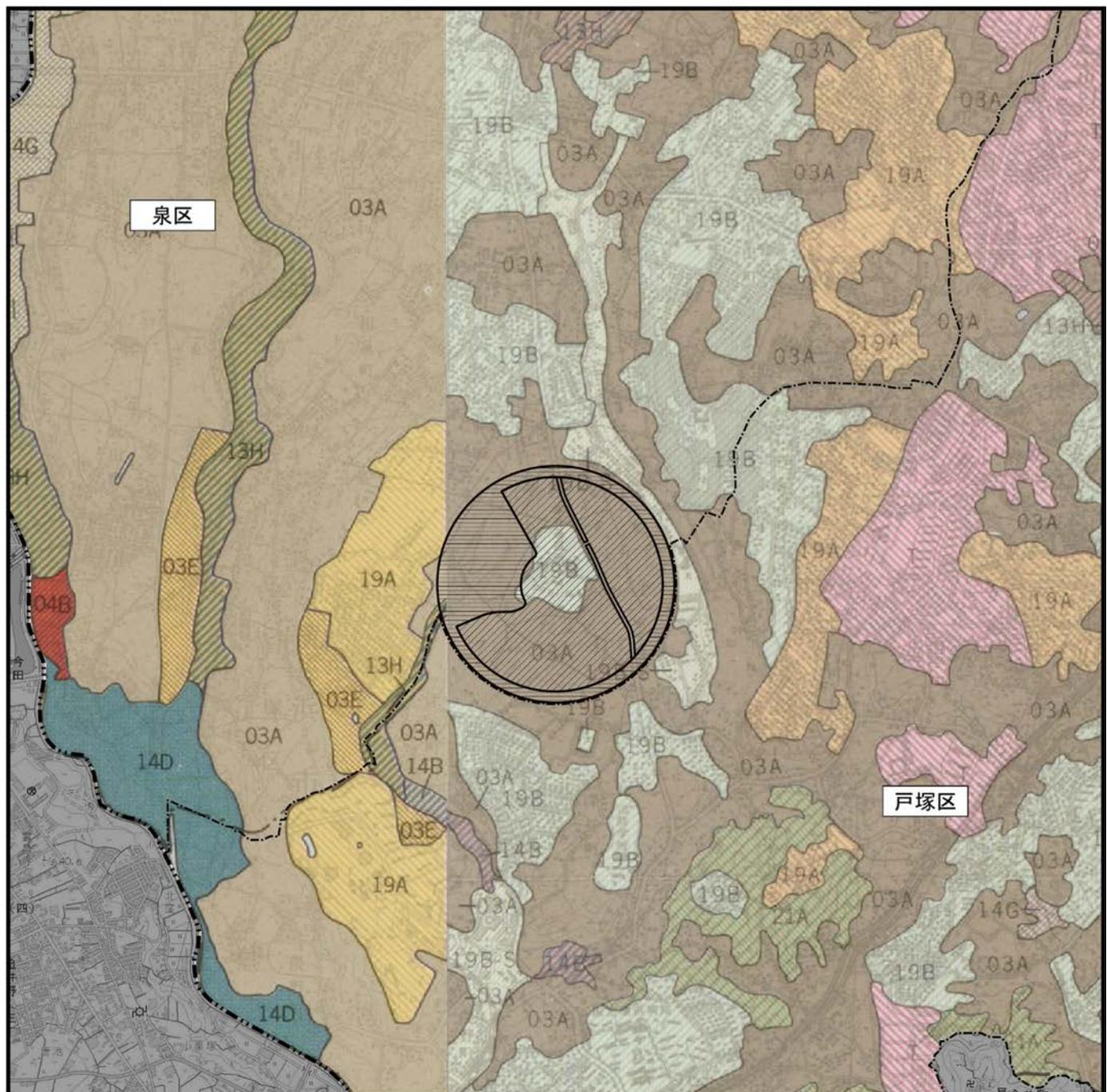
3) 地盤

調査区域の土壤の状況は、図 3.2.2.3 及び表 3.2.2.3 に示すとおりです。

土壤図によると、対象事業実施区域の土壤は、大部分に厚層多腐植質黒ボク土があり、一部にその他の人工改変低地土があります。

調査区域の軟弱地盤の状況は、図 3.2.2.4 に示すとおりです。

軟弱地盤図によると、対象事業実施区域の地盤は、大部分に丘陵地及び台地面があり、一部に軟弱地盤層厚 0～5 m があります。



凡例

 : 対象事業実施区域（公園）

□：対象事業実施区域（墓園）

市 境

——：区 境

資料A	資料B
-----	-----



0 250 500 1,000 m

1:25,000

資料 A : 「土地分類基本調査（5万分の1 土壤図）藤沢・平塚」
（神奈川県、昭和 63 年 3 月）

資料 B : 「土地分類基本調査（5万分の1 土壤図）横浜・東京西南部・
東京東南部・木更津」
（神奈川県、平成 3 年 3 月）

図 3.2.2.3 土壌図

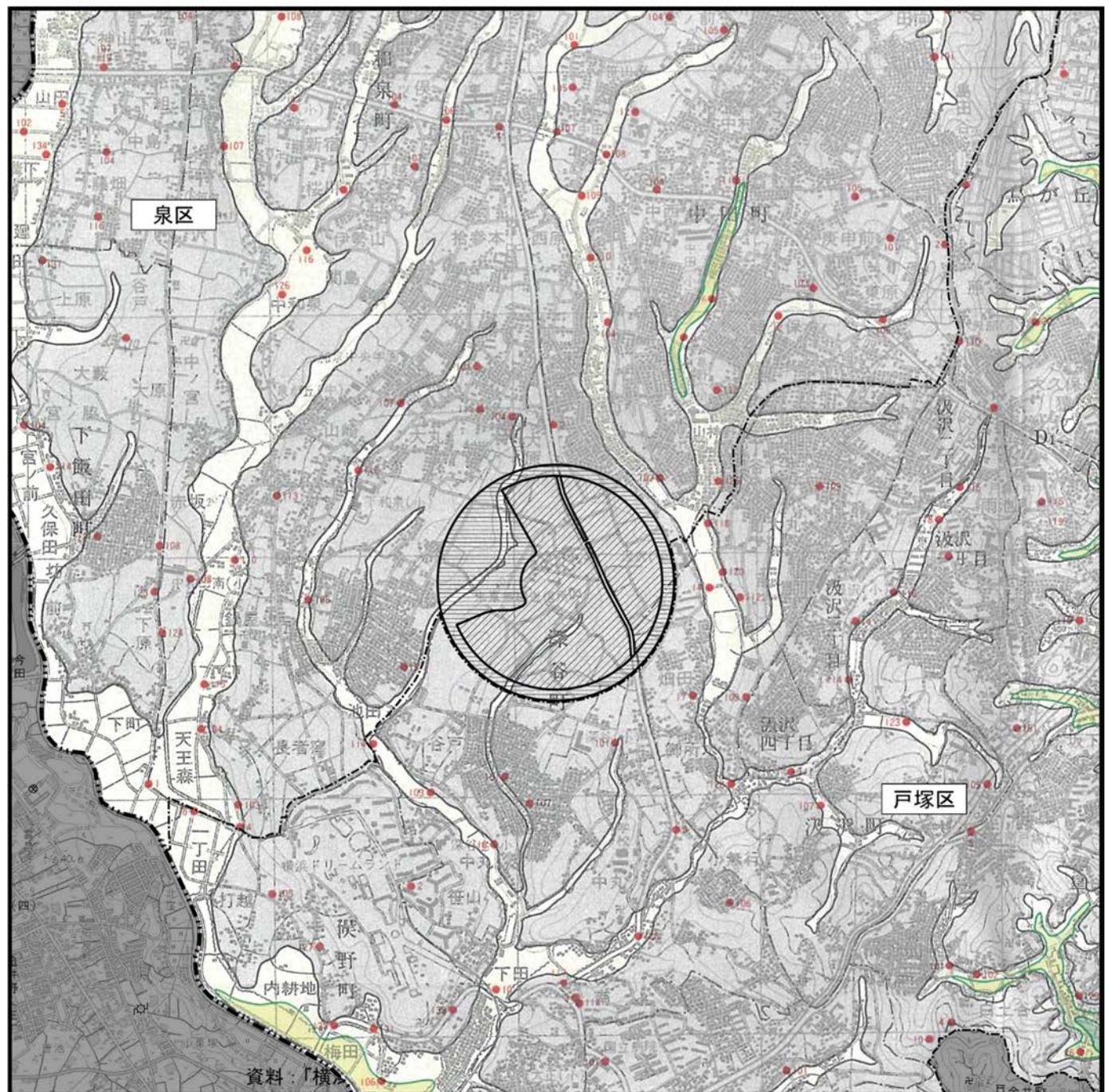
表 3.2.2.3 土壌図（図 3.2.2.3）の凡例

資料A		資料B	
03A	厚層多腐植質黒ボク土	21A	黒ボク土
03E	淡色黒ボク土	03A	厚層多腐植質黒ボク土
04B	厚層腐植質多湿黒ボク土	13H	灰色低地土・下層有機質
13H	灰色低地土・下層有機質	14B	中粗粒強グライ土
14B	中粗粒強グライ土	14G	グライ土・下層有機質
14D	細粒グライ土	15	黒泥土
14G	グライ土・下層有機質	19B-S	元水田
19A	人工改変台地土	19B	その他の人工改変低地土
		19A	その他の人工改変台地土
		T	大規模造成地

資料 A :「土地分類基本調査（5万分の1 土壌図）藤沢・平塚」（神奈川県、昭和 63 年 3 月）

資料 B :「土地分類基本調査（5万分の1 土壌図）横浜・東京西南部・東京東南部・木更津」

（神奈川県、平成 3 年 3 月）



凡 例

■：対象事業実施区域（公園）	□：軟弱地盤層厚 0～5m
■：対象事業実施区域（墓園）	■：軟弱地盤層厚 5～10m
---：市 境	●：ボーリング地点
- - -：区 境	■：丘陵地及び台地面

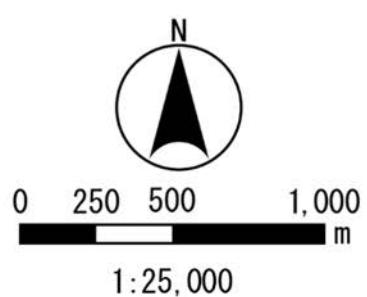


図 3.2.2.4 軟弱地盤図

資料：「横浜市地盤図集」（横浜市、平成8年）を基に加工して作成

3.2.3 水循環の状況

1) 河川

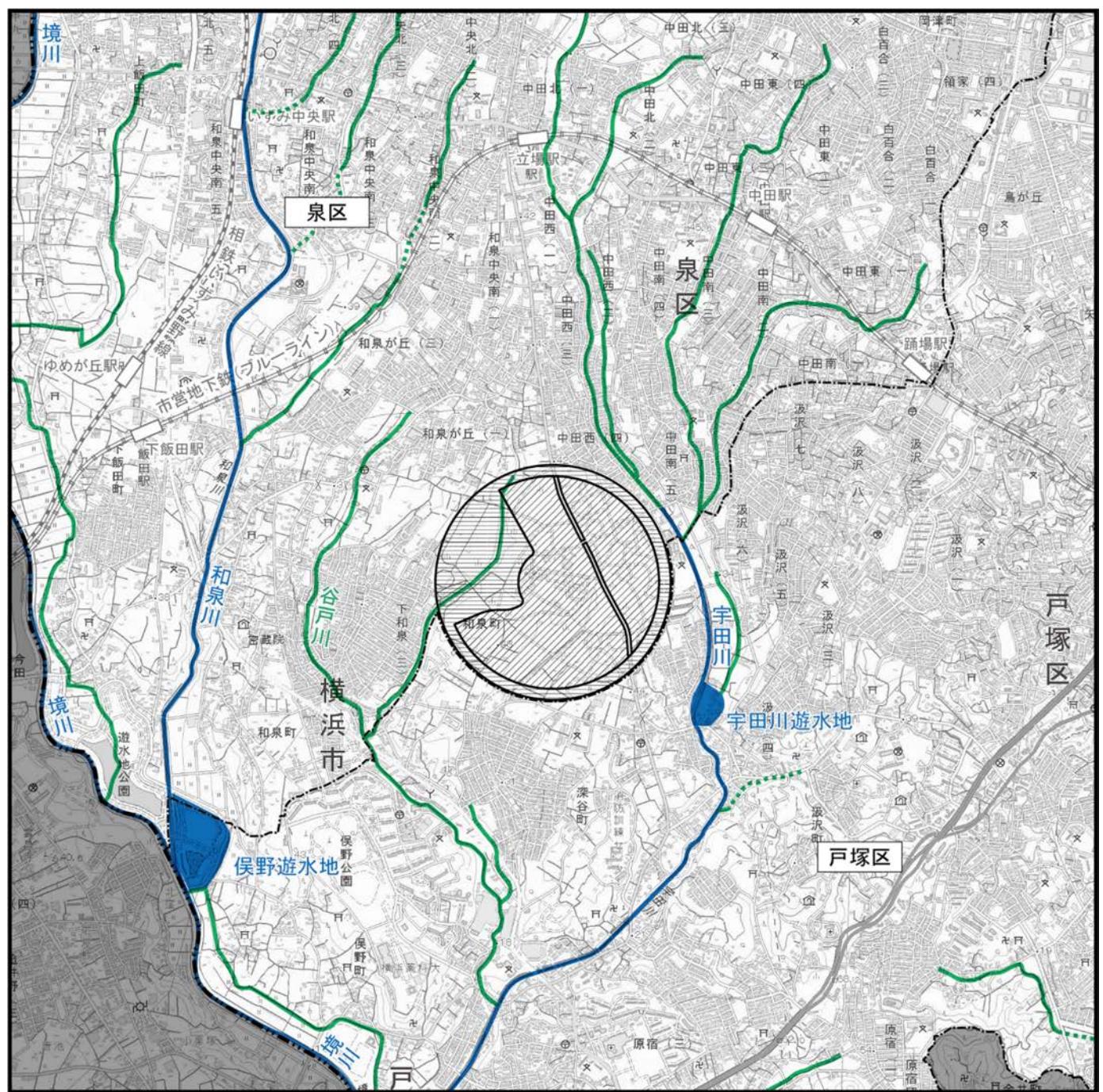
調査区域にある河川の状況は、表 3.2.3.1 及び図 3.2.3.1 に示すとおりです。

対象事業実施区域の西側には二級河川の境川と和泉川が、東側には二級河川の宇田川があります。

表 3.2.3.1 河川の状況

河川区分	水系名	河川名	延長 (m)	流域面積 (km ²)
二級河川	境川	境川	52,140	191.95
		宇田川	3,830	11.86
		和泉川	9,510	11.46

資料：「令和4年度土地統計資料集」（神奈川県政策局政策部土地水資源対策課、令和5年3月）



凡 例

- : 対象事業実施区域（公園）
- : 対象事業実施区域（墓園）
- - - : 市 境
- - - : 区 境
- : 二級河川
- : その他河川
- : 公共下水道

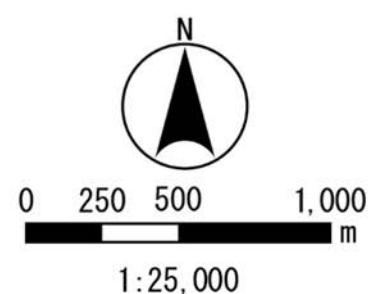


図 3.2.3.1 河川図

資料：「横浜市河川図」(横浜市道路局河川部、平成 23 年 3 月)

2) 湧水

調査区域における湧水の状況は、表 3.2.3.2 及び図 3.2.3.2 に示すとおりです。

調査区域において、湧水は泉区で 3 地点、戸塚区で 2 地点あります。

表 3.2.3.2 湧水の状況

行政区分	番号	名称	所在地
泉区	1	天王森泉公園	和泉町 308-1
	2	四ツ谷湧水	和泉町 1279 付近
	3	わきみずの森	下和泉四丁目 35
戸塚区	4	戸塚公園	戸塚町 2420-2
	5	谷矢部池公園	矢部町 1996

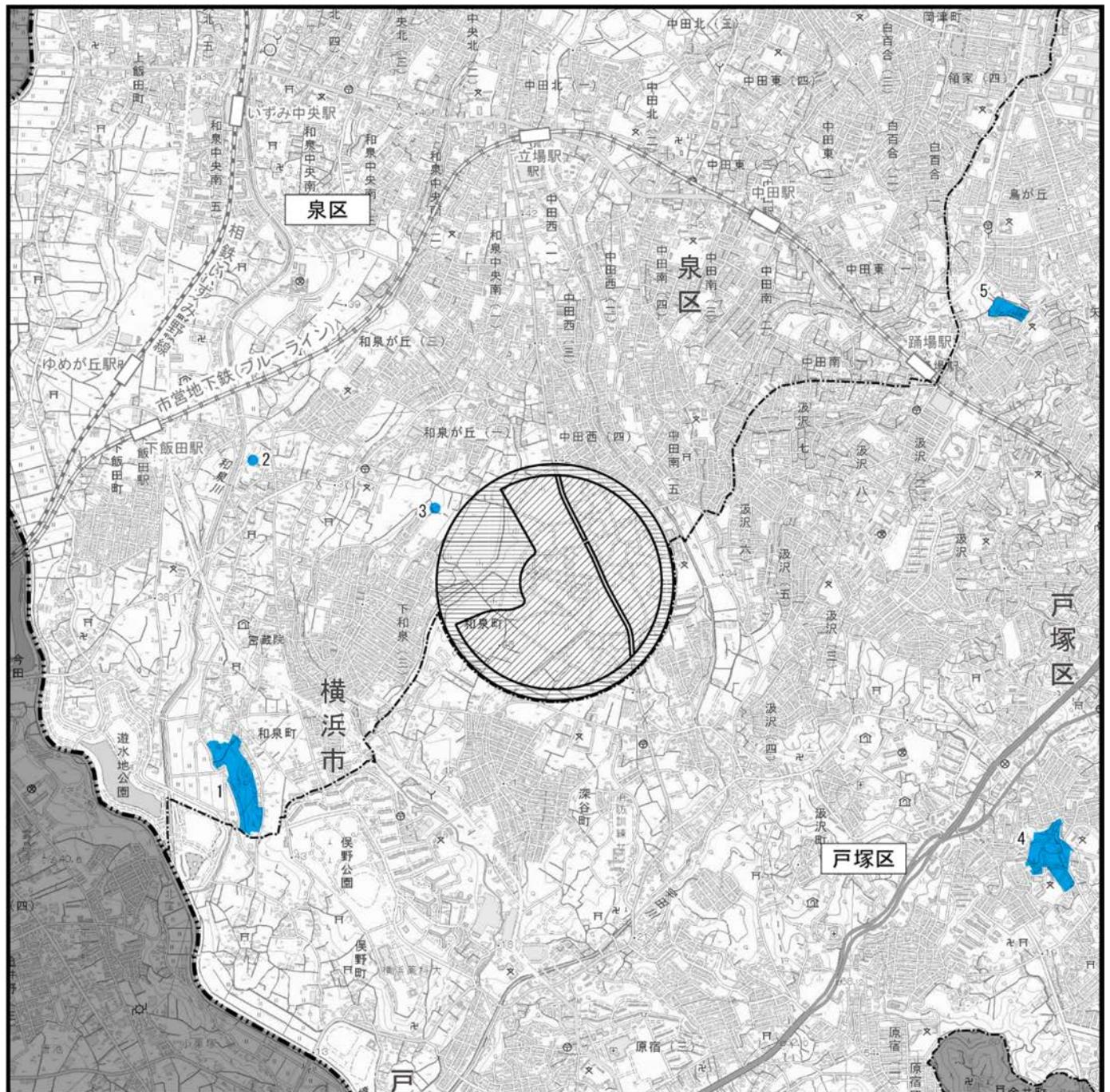
資料：「横浜市の湧水特性」（横浜市環境科学研究所報第 32 号）

（加藤良昭・下村光一郎・飯塚貞男、平成 20 年 3 月）

「泉区散策ガイド 水と緑と歴史の散歩道」（横浜市泉区総務部地域振興課、平成 28 年 11 月改訂）

「下和泉湧き水を守る会資料」（下和泉湧き水を守る会、令和 7 年 3 月調べ）

「横浜市の都市公園データ集」（横浜市ホームページ、令和 7 年 3 月調べ）



凡 例

■：対象事業実施区域（公園）

●：湧水

■：対象事業実施区域（墓園）

---：市 境

----：区 境



0 250 500 1,000
m

1:25,000

資料：「横浜市の湧水特性」（横浜市環境科学研究所報第32号）

（加藤良昭・下村光一郎・飯塚貞男、平成20年3月）

「泉区散策ガイド 水と緑と歴史の散歩道」

（横浜市泉区役所総務部地域振興課、平成28年11月改訂）

「下和泉湧き水を守る会資料」（下和泉湧き水を守る会、令和7年3月調べ）

「横浜市の都市公園データ集」（横浜市ホームページ、令和7年3月調べ）

図 3.2.3.2 湧水の位置

3.2.4 植物、動物の状況

1) 植物

調査区域における現存植生は図 3.2.4.1 に、潜在自然植生は図 3.2.4.2 に、特別緑地保全地区は図 3.2.4.3 に示すとおりです。

現存植生図によると、調査区域は、大部分に「市街地」及び「緑の多い住宅地」があり、一部に「畠雜草群落」があります。対象事業実施区域は、大部分に「ゴルフ場・芝地」及び「畠雜草群落」があり、一部に「クヌギーコナラ群集」があります。

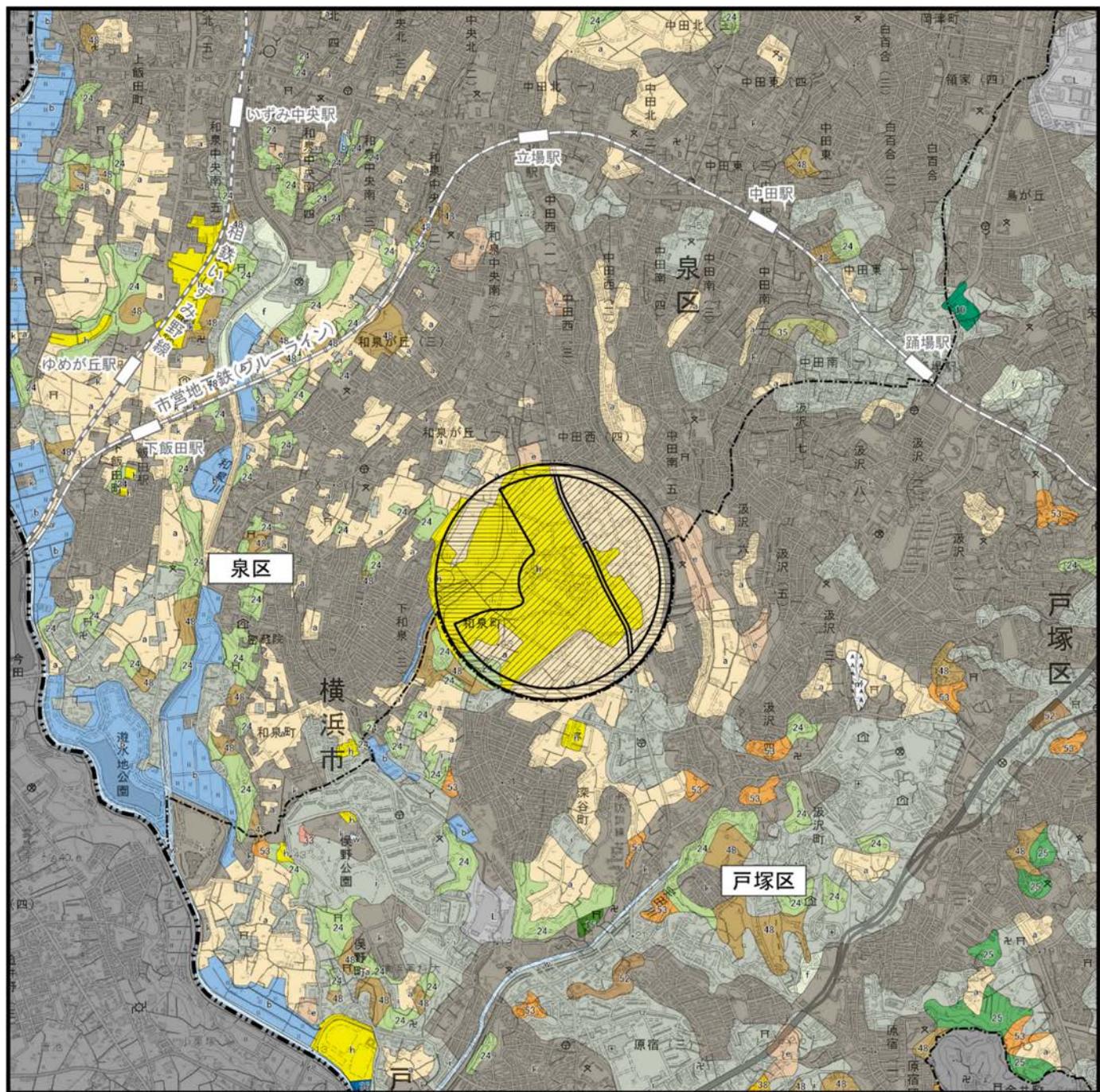
潜在自然植生図によると、調査区域は、大部分に「シラカシ群集・典型亜群集」及び「シラカシ群集・ケヤキ亜群集」があります。対象事業実施区域は、大部分に「シラカシ群集・典型亜群集」があり、一部に「シラカシ群集・ケヤキ亜群集」及び「ハンノキ群落」が分布しています。

調査区域には、表 3.2.4.1 に示すとおり、特別緑地保全地区が指定されている区域がありますが、対象事業実施区域には存在しません。

表 3.2.4.1 特別緑地保全地区

行政区分	番号	名称	面積(ha)	指定年月日
泉区	1	鯉ヶ久保特別緑地保全地区	1.7	平成 17 年 3 月 15 日
	2	吉橋特別緑地保全地区	2.2	当初 平成 23 年 8 月 5 日 変更 平成 25 年 2 月 5 日
	3	鍋屋特別緑地保全地区	1.1	平成 25 年 2 月 5 日
	4	和泉町関島特別緑地保全地区	1.5	平成 28 年 7 月 5 日
	5	和泉町天王森特別緑地保全地区	0.6	平成 28 年 7 月 5 日
	6	和泉中央南二丁目特別緑地保全地区	0.4	令和 6 年 4 月 15 日
	7	中田東一丁目特別緑地保全地区	0.8	令和 7 年 2 月 14 日
戸塚区	8	汲沢四丁目特別緑地保全地区	0.7	平成 26 年 2 月 5 日

資料：「特別緑地保全地区、近郊緑地特別保全地区」（横浜市ホームページ、令和 7 年 3 月調べ）



凡 例

■：対象事業実施区域（公園）

■：対象事業実施区域（墓園）

---：市 境

---：区 境

: 10. シラカシ群集	: 38. 低木群落	: a. 畑雜草群落
: 15. ヤブコウジースダジイ群集	: 48. スギ・ヒノキ・サワラ植林	: b. 水田雜草群落
: 24. クヌギーコナラ群集	: 52. その他植林	: k. 市街地
: 25. オニシバリーコナラ群集	: 53. 竹林	: i. 緑の多い住宅地
: 33. 伐採跡地群落（VII）	: h. ゴルフ場・芝地	: L. 工場地帯
: 35. アカメガシワーカラスザンショウ群落	: f. 路傍・空地雜草群落	: m. 造成地
: 36. ミヅソバーヨシ群落	: e. 果樹園	: w. 開放水域

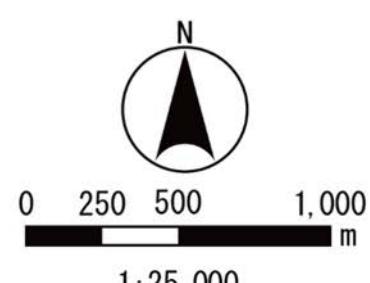
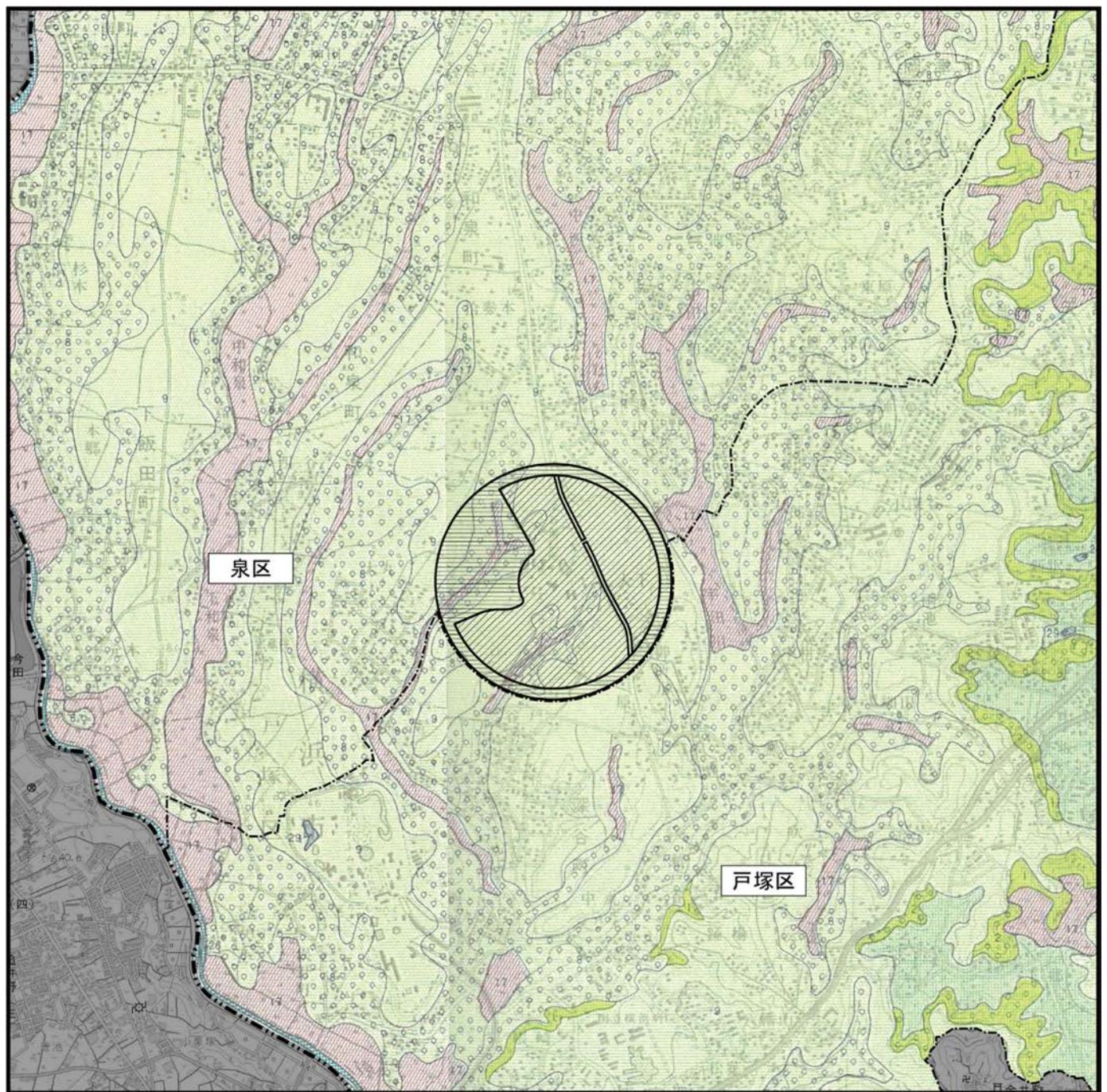


図 3.2.4.1 現存植生図

資料：「自然環境調査 Web-GIS (第6-7回自然環境保全基礎調査植生調査)」
(環境省自然環境局生物多様性センター)を基に加工して作成



凡 例

: 対象事業実施区域（公園）

: 対象事業実施区域（墓園）

: 市 境 : ヤブコウジースダジイ群集・典型亜群集

: 区 境 : ヤブコウジースダジイ群集・アカガシ亜群集

: シラカシ群集・ケヤキ亜群集

: シラカシ群集・典型亜群集

: ハンノキ群落

: セリークサヨシ群集・ツルヨシ群集(河辺草本植物群落)

: ウキクサクラス及びヒルムシロクラス(開放水域植物群落)

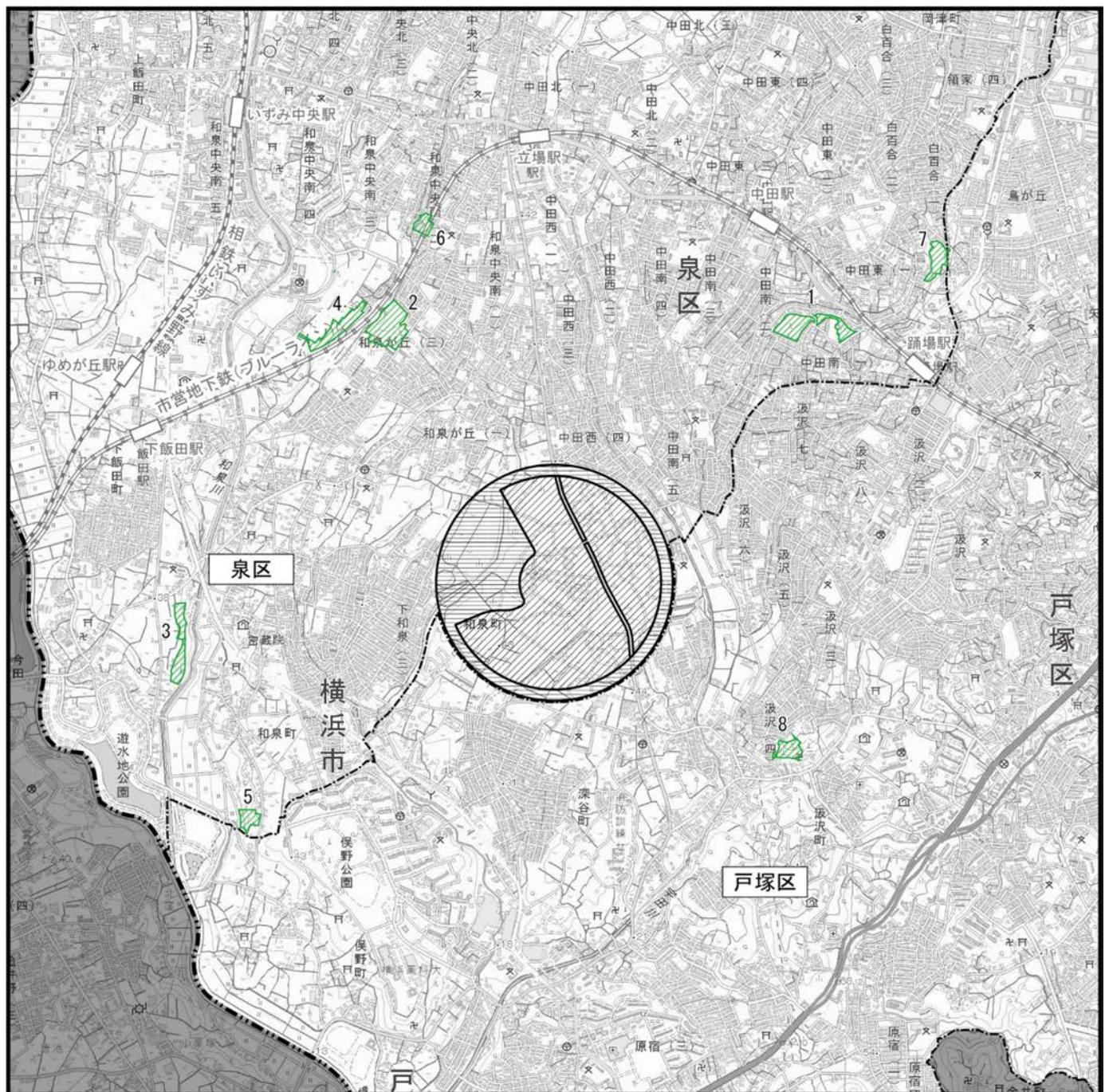


0 250 500 1,000
m

1:25,000

図 3.2.4.2 潜在自然植生図

資料 A : 「神奈川県潜在自然植生図（藤沢）」（神奈川県教育委員会、昭和 50 年）
資料 B : 「神奈川県潜在自然植生図（戸塚）」（神奈川県教育委員会、昭和 50 年）



凡 例

■：対象事業実施区域（公園）

■：対象事業実施区域（墓園）

---：市 境

----：区 境

■：特別緑地保全地区



0 250 500 1,000
m

1:25,000

図 3.2.4.3 特別緑地保全地区図

資料：「特別緑地保全地区、近郊緑地特別保全地区」
(横浜市ホームページ、令和7年3月調べ)

また、「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」(神奈川県立生命の星・地球博物館、平成 18 年 7 月) に記載された神奈川県のレッドデータ植物群落（群落複合）や「神奈川県レッドデータブック 2022 植物編」(令和 4 年 3 月) に記載された植物群落、「自然環境保全基礎調査」(環境省) により選定された「特定植物群落」はありません。

なお、「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」(神奈川県立生命の星・地球博物館、平成 18 年 7 月) 及び「神奈川県レッドデータブック 2022 植物編」(神奈川県環境農政局緑政部自然環境保全課・神奈川県立生命の星・地球博物館編、令和 4 年 3 月) において報告されている調査区域周辺の主な植物相の確認状況は表 3.2.4.2 に示すとおり、シダ植物は 7 種、種子植物は 52 種が確認されています。

表 3.2.4.2 調査区域周辺の主な植物相の確認状況（植物）

調査項目	既存資料		主な確認種
	①	②	
シダ植物	○	○	ミズニラ、コヒロハハナヤスリ、オオアカウキクサ、サンショウモ、ヒメミズワラビ、ミズワラビ、コタニワタリ
種子植物	○	○	ヤナギスズタ、ホツヌモ、シラン、エビネ、キンラン、ミクリ、マツバステグ、レンリソウ、ネコノチチ、ミズマツバ、ミズキンバイ、シャクジョウソウ、ヤブムグラ、ミズネコノオ、タカサゴソウ、ミヤコアザミ、イブキボウフウ等

資料①：「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」(神奈川県立生命の星・地球博物館、平成 18 年 7 月)

資料②：「神奈川県レッドデータブック 2022 植物編」

(神奈川県環境農政局緑政部自然環境保全課・神奈川県立生命の星・地球博物館編、令和 4 年 3 月)

表 3.2.4.2 に示した植物相について、表 3.2.4.3 に示す資料より選定を行いました。選定基準との比較を行った結果、調査区域周辺で確認されている主な注目すべき種は、表 3.2.4.4(1)～(2) に示すとおりです。シダ植物は 6 種、種子植物は 52 種が確認されています。

表 3.2.4.3 注目すべき種の選定基準（植物）

文献及び法律名		選定基準となる区分	記号
1	「文化財保護法」（昭和 25 年、法律第 214 号）	特別天然記念物 天然記念物	国特 天然
2	「神奈川県文化財保護条例」 （昭和 30 年、神奈川県条例第 13 号）	県指定天然記念物	県天
3	「横浜市文化財保護条例」 （昭和 62 年、横浜市条例第 53 号）	市指定天然記念物	市天
4	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年、法律第 75 号）	国際希少野生動植物種 国内希少野生動植物種 緊急指定種	国際 国内 緊急
5	「環境省レッドリスト 2020 の公表について」 （環境省、令和 2 年 3 月）	絶滅 野生絶滅 絶滅危惧 I 類 絶滅危惧 IA 類 絶滅危惧 IB 類 絶滅危惧 II 類 準絶滅危惧 情報不足 絶滅のおそれのある地域個体群	EX EW CR+EN CR EN VU NT DD LP
6	「神奈川県レッドデータブック 2022 植物編」 （神奈川県環境農政局緑政部自然環境保全課・神奈川県立生命の星・地球博物館、令和 4 年 3 月）	絶滅 準絶滅 野生絶滅 絶滅危惧 I 類 絶滅危惧 IA 類 絶滅危惧 IB 類 絶滅危惧 II 類 準絶滅危惧 情報不足 絶滅のおそれのある地域個体群 注目種	EX 準絶滅 EW CR+EN CR EN VU NT DD LP 注目

表 3.2.4.4 (1) 調査区域周辺で確認されている主な注目すべき種（植物）

No.	分類	科名	和名	選定基準及びランク ^{※1}					
				1	2	3	4	5	6
1	シダ植物	ミズニラ科	ミズニラ					NT	VU
2		ハナヤスリ科	コヒロハハナヤスリ					NT	
3		サンショウモ科	オオアカウキクサ					EN	VU
4			サンショウモ					VU	CR
5		イノモトソウ科	ヒメミズワラビ					NT	
6		チャセンシダ科	コタニワタリ					NT	
7	種子植物	ジュンサイ科	ジュンサイ						EX
8		スイレン科	ヒツジグサ						EX
9		トチカガミ科	ヤナギスブタ						CR
10			ヒロハトリゲモ						NT
11			ホッスモ						CR
12			ミズオオバコ					VU	VU
13		ヒルムシロ科	イトモ					NT	EN
14		ユリ科	アマナ						NT
15		ラン科	シラン					NT	NT
16			エビネ					NT	NT
17			ナツエビネ					VU	EN
18			キンラン					VU	NT
19			クマガイソウ					VU	VU
20			アオスズラン					VU	
21			カキラン					VU	
22		ガマ科	ミクリ					NT	NT
23		ホシクサ科	コイヌノヒゲ						EN
24		イグサ科	ヒメコウガイゼキショウ						VU
25		カヤツリグサ科	マツバスグ						VU
26			セイタカハリイ						VU
27			ハリイ						VU
28			シカクイ						NT
29			クグテンツキ						EN
30			アゼテンツキ						VU
31			メアゼテンツキ						VU
32		イネ科	スズメガヤ						VU
33			ヨコハマダケ						EN
34		マメ科	レンリソウ						EN
35		クロウメモドキ科	ネコノチチ						EN
36		ニシキギ科	ウメバチソウ						EN
37		ヤナギ科	オオタチヤナギ						EN
38		ミソハギ科	ミズマツバ					VU	NT
39			ヒシ						VU
40		アカバナ科	ミズキンバイ					VU	VU

表 3.2.4.4 (2) 調査区域周辺で確認されている主な注目すべき種（植物）

No.	分類	科名	和名	選定基準及びランク ^{※1}					
				1	2	3	4	5	6
41	種子植物	サクラソウ科	スマトラノオ						VU
42			クサレダマ						VU
43		ツツジ科	シャクジョウソウ						NT
44		アカネ科	ヤブムグラ					VU	VU
45		リンドウ科	コケリンドウ						VU
46		ムラサキ科	ルリソウ						CR
47		オオバコ科	キクモ						NT
48		シソ科	ミズネコノオ					NT	CR
49		タヌキモ科	イヌタヌキモ					NT	EN
50		キク科	ヒメシオン						EN
51			ヒレアザミ						VU
52			シドキヤマアザミ						VU
53			サワヒヨドリ						EN
54			タカサゴソウ					VU	CR
55			ミヤコアザミ						VU
56			オナモミ					VU	EN
57		セリ科	ドクゼリ						EX
58			イブキボウフウ						EN
計	-	32科	58種	0種	0種	0種	0種	18種	58種

※1 「選定基準及びランク」1~6は、表 3.2.4.3 の文献を参照。

※2 種名及び配列等は、主に「令和6年度 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省、令和6年10月)に準拠しました。

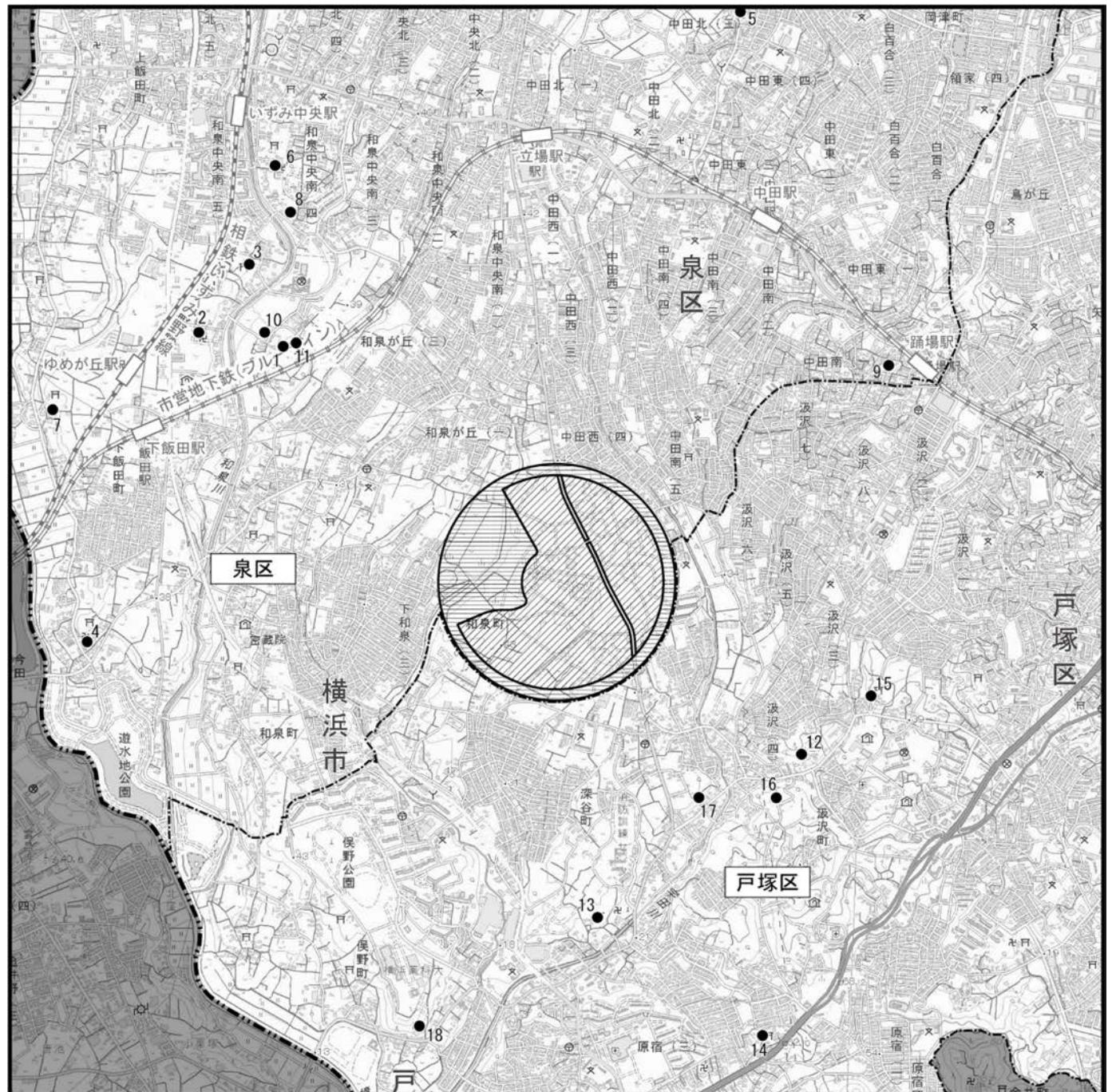
また、調査区域には、表 3.2.4.5 及び図 3.2.4.4 に示すとおり、本市の名木古木保存事業により指定された名木古木が 35 本ありますが、対象事業実施区域には存在しません。

表 3.2.4.5 名木古木一覧表

行政区分	番号	所在地	目標	樹種	樹齢(年)
泉区	1	和泉町 2299-イ	グリーンヒル泉・横浜傍	スダジイ	750
		和泉町 3193	宝心寺	イチョウ	390
	2	和泉町 3193	宝心寺	イトヒバ	390
		和泉町 3193	宝心寺	イトヒバ	400
	3	和泉町 3253	左馬神社	シラカシ	360
	4	下飯田町 743	東泉寺	イチョウ	430
	5	中田町 3365	御靈神社	イチョウ	190
		中田町 3365	御靈神社	イチョウ	190
	6	和泉町 3659	長福寺	イチョウ	210
	7	下飯田町 1389	左馬神社	イチョウ	248
	8	泉中央南 4 丁目 32-16	自宅	キンモクセイ	420
	9	中田南一丁目 1385-1	自宅	シラカシ	300
		中田南一丁目 9	自宅	ケヤキ	300
	10	和泉町 2313 番		チャボヒバ	120
	11	和泉町 2312 番 1	グリーンヒル横浜	ケヤキ	160
		和泉町 2312 番 1	グリーンヒル横浜	ケヤキ	190
戸塚区	12	汲沢四丁目 32-6	宝寿院	イチョウ	190
		汲沢四丁目 32-6	宝寿院	シダレザクラ	120
	13	深谷町 1026	三嶋神社	モミ	160
		深谷町 1026	三嶋神社	ヒノキ	140
	14	原宿三丁目 17-8	浅間神社	スダジイ	248
		原宿三丁目 17-8	浅間神社	スダジイ	248
		原宿三丁目 17-8	浅間神社	スダジイ	248
		原宿三丁目 17-8	浅間神社	スダジイ	248
		原宿三丁目 17-8	浅間神社	スダジイ	248
		原宿三丁目 17-8	浅間神社	スダジイ	248
	15	汲沢町 1273	五霊神社	モミノキ	180
	16	汲沢町 251	個人宅	ケンポナシ	130
		汲沢町 251	個人宅	ケヤキ	380
	17	汲沢町 398-2	個人宅	モチノキ	318
	18	俣野町 585-1	福泉寺	タイサンボク	120
		俣野町 585-1	福泉寺	サルスベリ	120
		俣野町 585-1	福泉寺	シラカシ	200
		俣野町 585-1	福泉寺	モチノキ	200
		俣野町 585-1	福泉寺	イトヒバ	150

※ 令和 5 年 9 月 1 日現在

資料：「名木古木に指定されている樹木一覧」（横浜市ホームページ、令和 7 年 3 月調べ）



凡 例

■：対象事業実施区域（公園）

■：対象事業実施区域（墓園）

---：市 境

----：区 境

●：名木古木

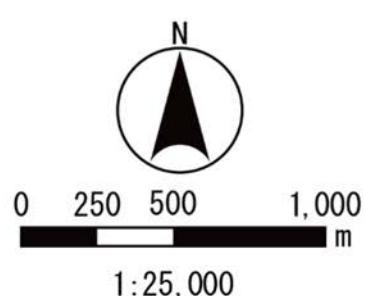


図 3.2.4.4 名木古木位置図

資料：「名木古木に指定されている樹木一覧」
(横浜市ホームページ、令和7年3月調べ)

2) 動物

現存植生図（図 3.2.4.1 p.3-18 参照）によると、調査区域は、大部分に「市街地」及び「緑の多い住宅地」があり、一部に「畠雜草群落」があります。対象事業実施区域は、大部分に「ゴルフ場・芝地」及び「畠雜草群落」があり、一部に「クヌギーコナラ群集」があります。

調査区域には「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」（神奈川県立生命の星・地球博物館、平成 18 年 7 月）に記載された、神奈川県における絶滅のおそれのある地域個体群は存在しません。

なお、「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」（神奈川県立生命の星・地球博物館、平成 18 年 7 月）、「神奈川県鳥獣生息分布調査報告書」（神奈川県環境農政局緑政部自然環境保全課、平成 4 年 3 月）及び「横浜の川と海の生物（第 16 報・河川編）」（令和 6 年 3 月）において報告されている調査区域周辺の主な動物相の確認状況は、表 3.2.4.6 に示すとおり、哺乳類は 5 種、鳥類は 92 種、両生類 4 種、爬虫類 5 種、魚類 25 種、底生動物 33 種、昆虫類 153 種が確認されています。

表 3.2.4.6 調査区域周辺で確認されている主な動物相の一覧（動物）

分類**	既存資料			主な確認種
	①	②	③	
哺乳類	○	○		ノウサギ、カヤネズミ、タヌキ、ニホンイタチ、アナグマ
鳥類	○	○		コサギ、カルガモ、トビ、コジュケイ、ヤマドリ、キジ、コチドリ、タカブシギ、イソシギ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ツグミ、ウグイス、オオヨシキリ、セッカ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ、カワラヒワ、シメ、スズメ、ムクドリ、オナガ、ハシブトガラス等
両生類	○			ニホンアカガエル、トウキョウダルマガエル、ムカシツチガエル、シュレーベルアオガエル
爬虫類	○			ニホンイシガメ、ヒガシニホントカゲ、シマヘビ、アオダイショウ、ヤマカガシ
魚類	○	○		キンブナ、ギンブナ、オイカワ、カワムツ、アブラハヤ、ウグイ、モツゴ、タモロコ、ヒガシシマドジョウ、ホトケドジョウ、ナマズ、アユ、カダヤシ、ブルーギル、カジカ、ボウズハゼ、カワヨシノボリ、オオヨシノボリ、トウヨシノボリ類、ウロハゼ等
底生動物			○	アメリカツノウズムシ、カワニナ、ヒロマキミズマイマイ、シマイシビル、ビロウトイシビル、ミズムシ、フロリダマミズヨコエビ、ミナミテナガエビ、ヒラテテナガエビ、スジエビ、ウデマガリコカゲロウ、ハグロトンボ、ダビドサナエ、コオニヤンマ、シオカラトンボ、コガタシマトビケラ、ウルマーシマトビケラ等
昆虫類	○			コバネアオイトトンボ、ベッコウトンボ、ババアメンボ、ホッケミズムシ、コオイムシ、ウラギンスジヒヨウモン、オオウラギンヒヨウモン、オオムラサキ、ツマグロキチョウ、セアカオサムシ、ヒトツメアオゴミムシ、オオサカアオゴミムシ、イグチケブカゴミムシ、ホソハンミョウ、オオミズスマシ、コガムシ、オオクワガタ、アカマダラハナムグリ等

* 分類は各資料に準拠しました。

資料①：「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」（神奈川県立生命の星・地球博物館、平成 18 年 7 月）

資料②：「神奈川県鳥獣生息分布調査報告書」（神奈川県環境農政局緑政部自然環境保全課、平成 4 年 3 月）

資料③：「横浜の川と海の生物（第 16 報・河川編）」（横浜市環境科学研究所、令和 6 年 3 月）

表 3.2.4.6 に示した動物相について、表 3.2.4.7 に示す資料より選定を行いました。選定基準との比較を行った結果、調査区域周辺で確認されている主な注目すべき種は、表 3.2.4.8～表 3.2.4.14 に示すとおりです。哺乳類は 2 種、鳥類は 67 種、両生類は 4 種、爬虫類は 5 種、魚類は 12 種、昆虫類は 153 種、底生動物は 4 種が確認されています。

表 3.2.4.7 注目すべき種の選定基準（動物）

文献及び法律名		選定基準となる区分	記号
1	「文化財保護法」(昭和 25 年、法律第 214 号)	特別天然記念物 天然記念物	国特 天然
2	「神奈川県文化財保護条例」 (昭和 30 年、神奈川県条例第 13 号)	県指定天然記念物	県天
3	「横浜市文化財保護条例」 (昭和 62 年、横浜市条例第 53 号)	市指定天然記念物	市天
4	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」 (平成 4 年、法律第 75 号)	国際希少野生動植物種 国内希少野生動植物種 緊急指定種	国際 国内 緊急
5	「環境省レッドリスト 2020 の公表について」 (環境省、令和 2 年 3 月)	絶滅 野生絶滅 絶滅危惧 I 類 絶滅危惧 IA 類 絶滅危惧 IB 類 絶滅危惧 II 類 準絶滅危惧 情報不足	EX EW CR+EN CR EN VU NT DD
6	「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」 (神奈川県立生命の星・地球博物館、平成 18 年 7 月)	絶滅 野生絶滅 絶滅危惧 I 類 絶滅危惧 IA 類 絶滅危惧 IB 類 絶滅危惧 II 類 準絶滅危惧 減少種 希少種 要注意種 注目種 情報不足 情報不足 A 情報不足 B 不明種	EX EW CR+EN CR EN VU NT 減少 希少 要注 注目 DD DDA DDB 不明

表 3.2.4.8 調査区域周辺で確認されている主な注目すべき種（哺乳類）

No.	目名	科名	和名	選定基準及びランク※1					
				1	2	3	4	5	6
1	ネズミ目(齧歯目)	ネズミ科	カヤネズミ						NT
2	ネコ目(食肉目)	イタチ科	ニホンイタチ						NT
計	2 目	2 科	2 種	0 種	0 種	0 種	0 種	0 種	2 種

※1 選定基準及びランクは、表 3.2.4.7 のNo.と対応します。

※2 種名及び配列等は、主に「令和 6 年度 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（国土交通省、令和 6 年 10 月）に準拠しました。

表 3.2.4.9 (1) 調査区域周辺で確認されている主な注目すべき種（鳥類）

No.	目名	科名	和名	選定基準及びランク※1					
				1	2	3	4	5	6
1	キジ目	キジ科	ウズラ					VU	VU ^b
2			ヤマドリ						VU ^{a, b}
3	ハト目	ハト科	アオバト						注目 ^{a, b}
4	ペリカン目	サギ科	アマサギ						減少 ^a
5	ツル目	クイナ科	クイナ						VU ^b
6			ヒクイナ					NT	CR+EN ^a
7	カッコウ目	カッコウ科	カッコウ						VU ^a
8	アマツバメ目	アマツバメ科	ヒメアマツバメ						減少 ^a
9	チドリ目	チドリ科	タゲリ						VU ^b
10			ケリ					DD	希少 ^a NT ^b
11			ムナグロ						減少 ^b
12			イカルチドリ						NT ^a 注目 ^b
13			コチドリ						注目 ^a
14			シロチドリ					VU	VU ^a , NT ^b
15			ヤマシギ						希少 ^b
16			オオジシギ					NT	EX ^a
17			タシギ						注目 ^b
18			ツルシギ					VU	NT ^b
19	シギ科	シギ科	コアオアシシギ						NT ^b
20			アオアシシギ						NT ^b
21			タカブシギ					VU	NT ^b
22			キアシシギ						VU ^b
23			イソシギ						希少 ^a 注目 ^b
24			ウズラシギ						NT ^b
25			ハマシギ					NT	VU ^b
26			タマシギ科	タマシギ				VU	CR+EN ^a 希少 ^b
27	チドリ目	カモメ科	コアジサシ					VU	CR+EN ^a

表 3.2.4.9 (2) 調査区域周辺で確認されている主な注目すべき種（鳥類）

No.	目名	科名	和名	選定基準及びランク※1					
				1	2	3	4	5	6
28	タカ目	タカ科	ハチクマ					NT	CR+EN ^a
29			ツミ						VU ^a 希少 ^b
30			ハイタカ					NT	DD ^a 希少 ^b
31			オオタカ						VU ^a 希少 ^b
32			ノスリ						VU ^a 希少 ^b
33	フクロウ目	フクロウ科	オオコノハズク						CR+EN ^a 希少 ^b
34			アオバズク						VU ^a
35			トラフズク						CR+EN ^b
36			コミニズク						CR+EN ^b
37	ブッポウソウ目	カワセミ科	ヤマセミ						希少 ^a
38	ハヤブサ目	ハヤブサ科	ハヤブサ				国内	VU	CR+EN ^a 希少 ^b
39	スズメ目	サンショウクイ科	サンショウクイ					VU	VU ^a
40		モズ科	チゴモズ					CR	CR+EN ^a
41			モズ						減少 ^a
42			アカモズ			国内	EN	CR+EN ^a	
43		キクイタダキ科	キクイタダキ						希少 ^a
44		ヒバリ科	ヒバリ						減少 ^a
45		ツバメ科	ツバメ						減少 ^a
46		ムシクイ科	メボソムシクイ						VU ^a
47			エゾムシクイ					NT ^a	
48			センダイムシクイ					NT ^a	
49		ヨシキリ科	オオヨシキリ						VU ^a
50			コヨシキリ						CR+EN ^a
51	セッカ科	セッカ							減少 ^{a, b}
52	ゴジュウカラ科	ゴジュウカラ							NT ^a
53	ヒタキ科	トラツグミ							減少 ^a
54		クロツグミ							VU ^a
55		アカハラ							減少 ^a
56		コルリ							VU ^a
57		ルリビタキ							VU ^a
58		コサメビタキ							CR+EN ^a
59		キビタキ							減少 ^a
60		オオルリ							NT ^a
61	セキレイ科	キセキレイ							減少 ^a
62		セグロセキレイ							減少 ^a
63		ビンズイ							VU ^a

表 3.2.4.9 (3) 調査区域周辺で確認されている主な注目すべき種（鳥類）

No.	目名	科名	和名	選定基準及びランク ^{※1}					
				1	2	3	4	5	6
64	(スズメ目)	アトリ科	カワラヒワ						減少 ^a
65			アオジ						VU ^a
66		ホオジロ科	クロジ						CR+EN ^a
67			オオジュリン						減少 ^b
計	12 目	27 科	67 種	0 種	0 種	0 種	2 種	17 種	67 種

※1 選定基準及びランクは、表 3.2.4.7 のNo.と対応します。

※2 種名及び配列等は、主に「令和 6 年度 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（国土交通省、令和 6 年 10 月）に準拠しました。

※3 「神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006」（神奈川県立生命の星・地球博物館、平成 18 年 7 月）において、鳥類は繁殖期または非繁殖期ごとにカテゴリーが設定されています。繁殖期及び非繁殖期の区分は以下のとおりです。

a : 繁殖期 b : 非繁殖期

表 3.2.4.10 調査区域周辺で確認されている主な注目すべき種（両生類）

No.	目名	科名	和名	選定基準及びランク ^{※1}					
				1	2	3	4	5	6
1	無尾目	アカガエル科	ニホンアカガエル						VU
2			トウキョウダルマガエル					NT	VU
3			ムカシツチガエル ^{※3}						要注
4		アオガエル科	シュレーベルアオガエル						要注
計	1 目	2 科	4 種	0 種	0 種	0 種	0 種	1 種	4 種

※1 選定基準及びランクは、表 3.2.4.7 のNo.と対応します。

※2 種名及び配列等は、主に「令和 6 年度 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（国土交通省、令和 6 年 10 月）に準拠しました。

※3 資料③では、ツチガエルとして掲載されています。

表 3.2.4.11 調査区域周辺で確認されている主な注目すべき種（爬虫類）

No.	目名	科名	和名	選定基準及びランク ^{※1}					
				1	2	3	4	5	6
1	カメ目	イシガメ科	ニホンイシガメ					NT	CR+EN
2	有鱗目	トカゲ科	ヒガシニホントカゲ ^{※3}						要注
3			ナミヘビ科	シマヘビ					要注
4			アオダイショウ						要注
5			ヤマカガシ						要注
計	2 目	3 科	5 種	0 種	0 種	0 種	0 種	1 種	5 種

※1 選定基準及びランクは、表 3.2.4.7 のNo.と対応します。

※2 種名及び配列等は、主に「令和 6 年度 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（国土交通省、令和 6 年 10 月）に準拠しました。

※3 資料③では、トカゲとして掲載されています。

表 3.2.4.12 調査区域周辺で確認されている主な注目すべき種（魚類）

No.	目名	科名	和名	選定基準及びランク ^{※1}					
				1	2	3	4	5	6
1	コイ目	コイ科	キンブナ					VU	EN
2			アブラハヤ						NT
3			ウゲイ						NT
4		ドジョウ科	ヒガシシマドジョウ						NT
5		フクドジョウ科	ホトケドジョウ					EN	EN
6	ナマズ目	ナマズ科	ナマズ						注目
7	トゲウオ目	ヨウジウオ科	テングヨウジ						注目
8	スズキ目	カジカ科	カジカ					NT	VU
9		カワアナゴ科	カワアナゴ						EN
10		ハゼ科	ボウズハゼ						NT
11			オオヨシノボリ						NT
12			ウロハゼ						注目
計	4 目	8 科	12 種	0 種	0 種	0 種	0 種	3 種	12 種

※1 選定基準及びランクは、表 3.2.4.7 のNo.と対応します。

※2 種名及び配列等は、主に「令和 6 年度 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」（国土交通省、令和 6 年 10 月）に準拠しました。

表 3.2.4.13 (1) 調査区域周辺で確認されている主な注目すべき種（昆虫類）

No.	目名	科名	和名	選定基準及びランク ^{※1}					
				1	2	3	4	5	6
1	トンボ目 (蜻蛉目)	アオイトトンボ科	ホソミオツネントンボ						要注
2			コバネアオイトトンボ					EN	EX
3			オツネントンボ						VU
4		イトトンボ科	キイトトンボ						EN
5			クロイトトンボ						要注
6			セスジイトトンボ						要注
7			オオイトトンボ						CR
8		カワトンボ科	ハグロトンボ						要注
9		ヤンマ科	コシボソヤンマ						要注
10			カトリヤンマ						NT
11			ミルンヤンマ						要注
12		サナエトンボ科	ヤマサナエ						要注
13			タイワンウチワヤンマ						DD
14		エゾトンボ科	トラフトンボ						EX
15			コヤマトンボ						NT
16			タカネトンボ						要注
17		トンボ科	コフキトンボ						要注
18			ベッコウトンボ				国内	CR	EX
19			ハラビロトンボ						要注
20			シオヤトンボ						要注
21			チョウトンボ						EN
22			ナツアカネ						要注

表 3.2.4.13 (2) 調査区域周辺で確認されている主な注目すべき種（昆虫類）

No.	目名	科名	和名	選定基準及びランク※1					
				1	2	3	4	5	6
23	トンボ目 (蜻蛉目)	(トンボ科)	マユタテアカネ						要注
24			ヒメアカネ						要注
25			ミヤマアカネ						NT
26			リスアカネ						要注
27	バッタ目 (直翅目)	クツワムシ科	クツワムシ						要注
28		キリギリス科	オナガササキリ						要注
29			ヒガシキリギリス						要注
30		ケラ科	ケラ						要注
31		マツムシ科	スズムシ						要注
32			マツムシ						要注
33		バッタ科	ショウリヨウバッタモドキ						要注
34		イナゴ科	セグロイナゴ						NT
35	カメムシ目 (半翅目)	アメンボ科	オオアメンボ						NT
36			ババアメンボ					NT	EN
37		ミズムシ科(昆)	ホッケミズムシ					NT	EX
38		コオイムシ科	コオイムシ					NT	EN
39	トビケラ目 (毛翅目)	エグリトビケラ科	スジトビケラ						DDA
40		トビケラ科	ツマグロトビケラ						DDA
41	チョウ目 (鱗翅目)	ミノガ科	オオミノガ						VU
42		セセリチョウ科	アオバセセリ本土亜種						要注
43			ホソバセセリ						VU
44			ギンイチモンジセセリ					NT	NT
45			ミヤマチャバネセセリ						要注
46			オオチャバネセセリ						VU
47		シジミチョウ科	ミドリシジミ						NT
48		タテハチョウ科	コムラサキ						EN
49			ウラギンスジヒョウモン					VU	EN
50			オオウラギンスジヒョウモン						NT
51			スミナガシ本土亜種						要注
52			ウラギンヒョウモン						VU
53			オオウラギンヒョウモン					CR	EX
54		アスマイチモンジ							VU
55		クモガタヒョウモン							EN
56		オオムラサキ						NT	NT
57	シロチョウ科	ツマグロキチョウ						EN	EX
58	シャクガ科	ヨホシナミシャク							DDA
59		オビコバネナミシャク							不明
60	ヒトリガ科	ベニゴマダラヒトリ							不明
61	ハエ目 (双翅目)	ミバエ科	ツマモンハススジハマダラミバエ						注目
62	コウチュウ目 (鞘翅目)	オサムシ科	アシミゾヒメヒラタゴミムシ						NT
63			ムネミゾチビゴモクムシ						EX
64			フタモンクビナガゴミムシ						DDB
65			クロズカタキバゴミムシ						NT

表 3.2.4.13 (3) 調査区域周辺で確認されている主な注目すべき種（昆虫類）

No.	目名	科名	和名	選定基準及びランク ^{※1}					
				1	2	3	4	5	6
66	(コウチュウ目 (鞘翅目))	(オサムシ科)	ヨツモンカタキバゴミムシ						NT
67			アオヘリミズギワゴミムシ						NT
68			フタボシチビゴミムシ						NT
69			アカガネオサムシ本州亜種					VU	EX
70			セアカオサムシ					NT	要注
71			アカガネアオゴミムシ						NT
72			ヒツメアオゴミムシ					NT	EX
73			コアトワアオゴミムシ						NT
74			オオサカアオゴミムシ					DD	CR+EN
75			キバナガミズギワゴミムシ						NT
76			クロヒメヒョウタンゴミムシ						NT
77			オオアオホソゴミムシ						CR+EN
78			コチビヒョウタンゴミムシ						NT
79			チョウセンゴモクムシ					VU	NT
80			アリスアトキリゴミムシ					DD	要注
81			モモグロジュウジアトキリゴミムシ						DDA
82			ナカグロキバネクビナガゴミムシ						VU
83			ヨツボシゴミムシ						NT
84			トカラコミズギワゴミムシ						DDB
85			クロサヒラタアトキリゴミムシ						要注
86			イグチケブカゴミムシ					NT	NT
87			クロケブカゴミムシ						NT
88			ヒロムネナガゴミムシ						NT
89			オオナガゴミムシ						NT
90			コホソナガゴミムシ						NT
91			オオキンナガゴミムシ						NT
92			アシミゾナガゴミムシ						NT
93			セグロマメゴモクムシ						NT
94			クロサマメゴモクムシ						NT
95			タオマメゴモクムシ						NT
96			キアシツヤヒラタゴミムシ						NT
97			オビモンコミズギワゴミムシ						NT
98			アトモンコミズギワゴミムシ本土亜種						NT
99			クビナガヨツボシゴミムシ					DD	VU
100			アトスジチビゴミムシ						VU
101			キュウシュウツヤゴモクムシ						NT
102	ハンミョウ科	ホソハンミョウ						VU	CR+EN
103	ミズスマシ科	オオミズスマシ						NT	CR
104	カワラゴミムシ科	カワラゴミムシ							VU

表 3.2.4.13 (4) 調査区域周辺で確認されている主な注目すべき種（昆虫類）

No.	目名	科名	和名	選定基準及びランク※1					
				1	2	3	4	5	6
105	(コウチュウ目 (鞘翅目))	ガムシ科	ウスグロヒラタガムシ						DDB
106			コガムシ					DD	NT
107			ガムシ					NT	CR
108			クナシリシジミガムシ						DDB
109		エンマムシ科	ルリエンマムシ						VU
110			ムネアカセンチコ ガネ科	ムネアカセンチコガネ					NT
111		クワガタムシ科	オオクワガタ				VU	CR+EN	
112			ヒラタクワガタ本土亜種					VU	
113			ミヤマクワガタ						要注
114		アカマダラセンチ コガネ科	アカマダラセンチコガネ						NT
115			アカマダラハナムグリ				DD	NT	
116		コガネムシ科	ヤマトエンマコガネ				NT	DDA	
117			マルエンマコガネ					CR+EN	
118			シロスジコガネ				VU		
119			ヒゲコガネ				VU		
120			シラホシハナムグリ					EX	
121			クロスジチャイロコガネ本 州・四国亜種						不明
122			ルイスチャイロコガネ					DDA	
123		タマムシ科	ウバタマムシ					NT	
124			タマムシ						要注
125		コメツキムシ科	ウバタマコメツキ						NT
126		ホタル科	ヘイケボタル					NT	
127			スジグロボタル						NT
128		ツチハンミョウ科	マメハンミョウ						要注
129		カミキリムシ科	ヒゲナガモモブトカミキリ						NT
130			ルリカミキリ				VU		
131			シロスジカミキリ						要注
132			アカネトラカミキリ					NT	
133			ハンノキカミキリ				VU		
134			アカアシオオアオカミキリ					CR+EN	
135			ミドリカミキリ					NT	
136			クロトラカミキリ				VU		
137			ベーツヒラタカミキリ				VU		
138			キイロトラカミキリ						要注
139			ナカバヤシモモブトカミキリ				VU		
140			ムネアカクロハナカミキリ					NT	
141			ネジロカミキリ					NT	
142			ヨツボシカミキリ				EN	CR+EN	
143			アサカミキリ				VU	CR+EN	
144			モモグロハナカミキリ					NT	
145			トラフカミキリ						要注

表 3.2.4.13 (5) 調査区域周辺で確認されている主な注目すべき種（昆虫類）

No.	目名	科名	和名	選定基準及びランク ^{※1}					
				1	2	3	4	5	6
146	(コウチュウ目 (鞘翅目))	(カミキリムシ科)	ブドウトラカミキリ						NT
147			アオスジカミキリ						VU
148			ゾウムシ科	オオゴボウゾウムシ					EX
149	ハチ目 (膜翅目)	コマユバチ科	ウマノオバチ					NT	VU
150		ヒメバチ科	コンボウアメバチ						VU
151		クモバチ科	キオビクモバチ						CR+EN
152			フタモンクモバチ					NT	VU
153		ドロバチモドキ科	ニッポンハナダカバチ					VU	VU
計	8 目	46 科	153 種	0 種	0 種	0 種	1 種	30 種	153 種

※1 選定基準及びランクは、表 3.2.4.7 のNo.と対応します。

※2 種名及び配列等は、主に「令和 6 年度 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省、令和 6 年 10 月) に準拠しました。

表 3.2.4.14 調査区域周辺で確認されている主な注目すべき種（底生動物）

No.	門名	綱名	目名	科名	和名	選定基準及びランク ^{※1}					
						1	2	3	4	5	6
1	軟体動物門	二枚貝綱	マルスダレガイ目	シジミ科	マシジミ					VU	
2	節足動物門	昆虫綱	トンボ目 (蜻蛉目)	カワトンボ科	ハグロトンボ						要注
3				ヤンマ科	コシボソヤンマ						要注
4				エゾトンボ科	コヤマトンボ						NT
計	2 門	2 綱	2 目	4 科	4 種	0 種	0 種	0 種	0 種	1 種	3 種

※1 選定基準及びランクは、表 3.2.4.7 のNo.と対応します。

※2 種名及び配列等は、主に「令和 6 年度 河川水辺の国勢調査のための生物リスト」(国土交通省、令和 6 年 10 月) に準拠しました。

3) 農地

調査対象地域における自然的土地利用面積は、表 3.2.4.15 に示すとおり、泉区では 417ha の農地があり、戸塚区では 274ha の農地があります。

調査区域における農地の状況は、図 3.2.4.5 に示すとおりです。調査区域には多くの農地が分布しておりますが、対象事業実施区域（公園）には農地が分布していません。

対象事業実施区域（墓園）には、農地が一部分布しています。ただし、対象事業実施区域（墓園）には耕作している農地はありません。

表 3.2.4.15 農地の状況

項目	面積(ha)	
	泉区	戸塚区
農地	417	274

資料：「横浜市 土地利用のあらまし 令和元・2 年度」（横浜市建築局企画部都市計画課、令和 5 年 4 月）



凡 例

■ : 対象事業実施区域（公園）	■ : 農 地
■ : 対象事業実施区域（墓園）	■ : 山 林
--- : 市 境	■ : 河川・水路・水面
--- : 区 境	■ : 荒地・海浜・法面等
··· : 公共下水道	■ : 道路用地
	■ : その他

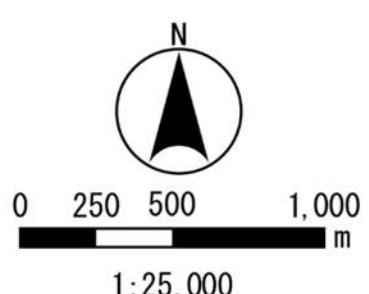


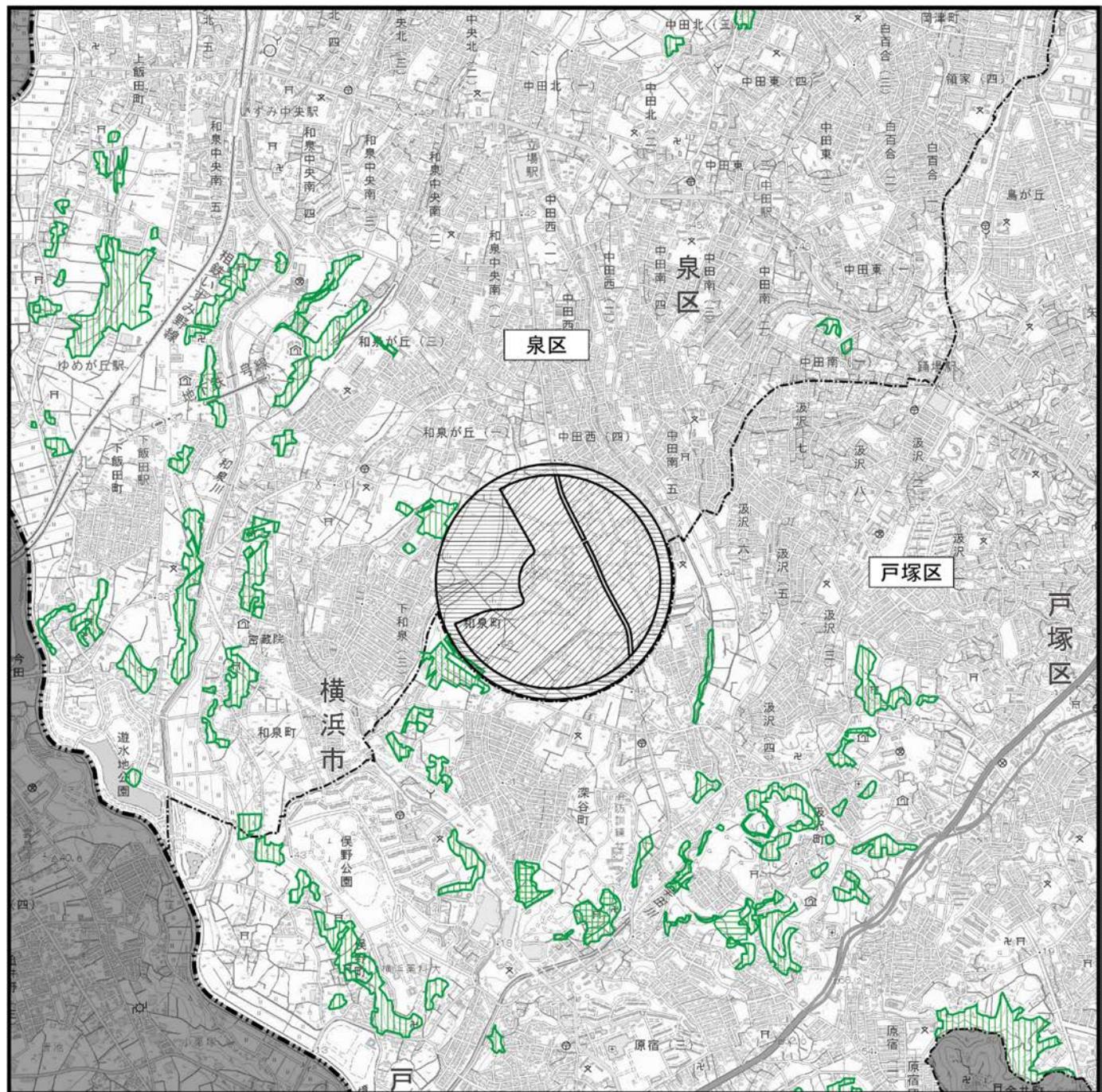
図 3.2.4.5 農地の状況

資料：「横浜市土地利用のあらまし 令和元・2年度」
(横浜市建築局企画部都市計画課、令和5年4月)

4) 森林

調査区域における地域森林計画対象民有林及び保安林の分布状況は、図 3.2.4.6 に示すとおりです。調査区域には多くの地域森林計画対象民有林及び保安林が分布しており、対象事業実施区域には、地域森林計画対象民有林が一部分布しています。

ただし、対象事業実施区域には民間所有地はありません。



凡 例

■ : 事業実施区域（公園）

■ : 地域森林計画対象民有林

■ : 事業実施区域（墓園）

■ : 保安林

--- : 市 境

---- : 区 境

— : 鉄道路線



0 250 500 1,000
m

1:25,000

図 3.2.4.6 森林地域の状況

資料：「地域森林計画対象民有林位置図」(地図情報(e-かなマップ)、令和7年3月調べ)
「国土数値情報(森林地域データ)」(国土交通省、令和7年3月調べ)

5) 生態系

調査区域には、表 3.2.4.16 及び図 3.2.4.7 に示すとおり、本市の「緑の 10 大拠点」に指定されている下和泉・東俣野・深谷周辺地区（横浜市水と緑の基本計画）や環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山」に指定されている下和泉・東俣野・深谷周辺（生物多様性保全上重要な里地里山）があります。対象事業実施区域は、2 つの地区に含まれています。

表 3.2.4.16 生態系の状況

番号	名称	所在地	備考
1	下和泉・東俣野・深谷周辺地区 (横浜市水と緑の基本計画)	横浜市戸塚区・泉区	緑の 10 大拠点
2	下和泉・東俣野・深谷周辺 (生物多様性保全上重要な里地里山)	横浜市戸塚区・泉区	

資料：「横浜市水と緑の基本計画」（横浜市環境創造局政策調整部政策課、平成 28 年 6 月）

「生物多様性保全上重要な里地里山」（環境省ホームページ、令和 7 年 3 月調べ）



凡 例

: 対象事業実施区域（公園）

: 対象事業実施区域（墓園）

: 市 境

: 区 境

: 下和泉・東俣野・深谷周辺地区（横浜市水と緑の基本計画）

: 下和泉・東俣野・深谷周辺（生物多様性保全上重要な里地里山）

資料：「横浜市水と緑の基本計画」
 （横浜市環境創造局政策調整部政策課、平成 28 年 6 月改訂）
 「生物多様性保全上重要な里地里山」
 （環境省ホームページ、令和 7 年 3 月調べ）

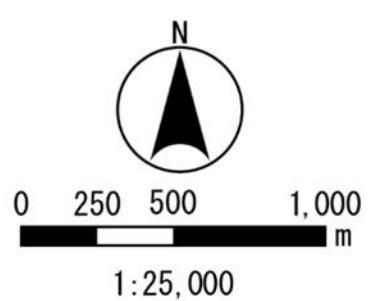


図 3.2.4.7 生態系の状況